

# 2025年度 中間期決算説明資料

2025年度中間期決算概要および2025年度通期見通し

2025年11月27日

**シンフォニア テクノロジー株式会社**

証券コード6507

- ① 会社概要
- ② 2025年度中間期決算概要
- ③ 2025年度通期見通し
- ④ 中期経営計画の進捗

# 会社概要



創業 ▶ 1917年5月（大正6年）

設立 ▶ 1949年8月（昭和24年）

本社所在地 ▶ 東京都港区芝大門1-1-30芝タワー

資本金 ▶ 101億5,696万円

従業員 ▶ 連結3,826人

事業内容 ▶ 半導体搬送、航空、制御機器の開発・製造・販売

事業体制 ▶ 国内製造拠点3拠点 子会社13社

上場市場 ▶ 東証プライム市場（証券コード：6507）



1878年～  
鳥羽造船所

1917年～  
鈴木商店  
/神戸製鋼

1949年～  
神鋼電機

2009年～  
シンフォニア  
テクノロジー

1878年 鳥羽造船所が創立。当社発祥

1917年 鳥羽造船所に電気係を組織。当社創業

1920年 帝国人造絹糸（現・帝人）の依頼でポットモータの製作開始

1920年 航空機機上用風車式直流発電機を製作。航空機用電装品事業へ参入

1921年 神戸製鋼所鳥羽電機製作所となる

1949年 神戸製鋼所が三分割され、神鋼電機株式会社設立

1952年 東京証券取引所一部に上場

1981年 直流ダイナモメータを開発。自動車用試験装置事業に参入

1986年 H-Iロケットの油圧ポンプ用電動モータを開発。宇宙分野に参入

1989年 半導体製造用縦型熱処理炉を納入。半導体製造装置事業に参入

1998年 300mmFOUP対応のLPを大手半導体製造装置メーカーへ納入

2009年 商号をシンフォニアテクノロジー株式会社に変更

2009年 300mmFOUP対応N2パージロードポートを開発

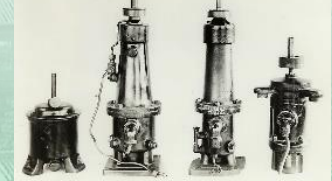
2017年 創業100年を迎える

創業当時の製品

船舶用発電機



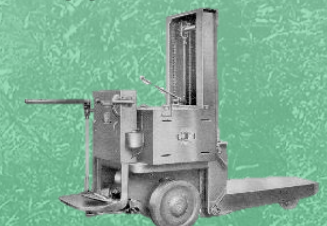
ポットモータ



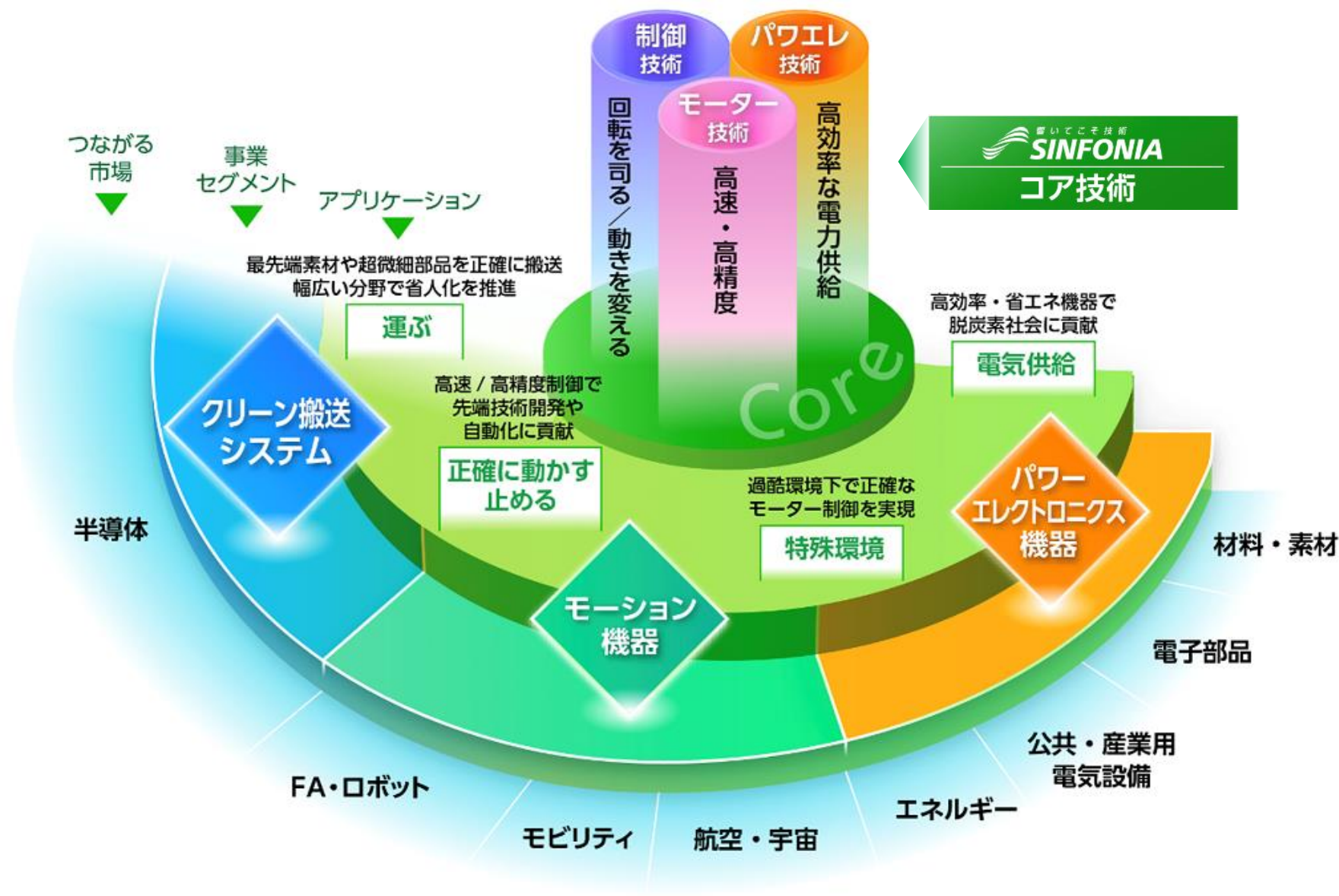
航空機用電装品

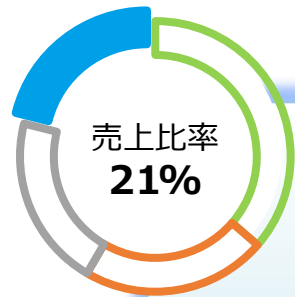


蓄電池運搬車







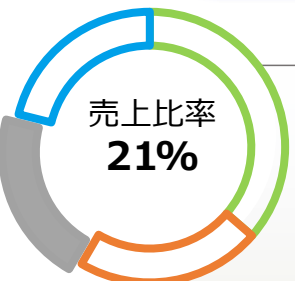


## クリーン搬送システム

関連市場：半導体



伸ばす事業

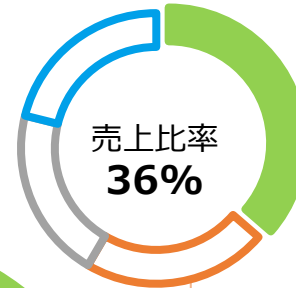


## エンジニアリング&サービス

設置工事、アフターサービス



顧客満足度を向上させる事業

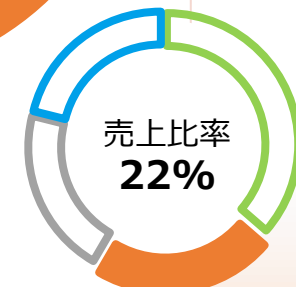


## モーション機器

関連市場：FA/ロボット、航空/宇宙



伸ばす事業



## パワーエレクトロニクス機器

関連市場：インフラ、エネルギー



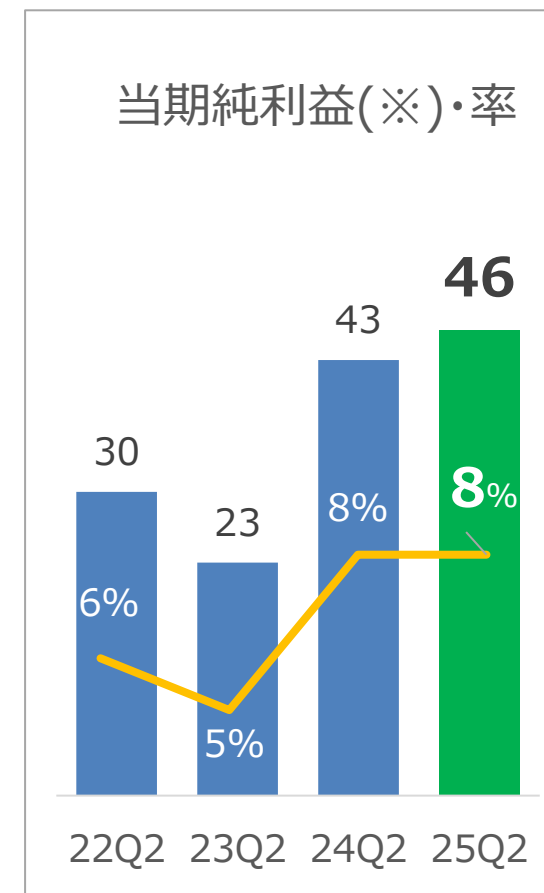
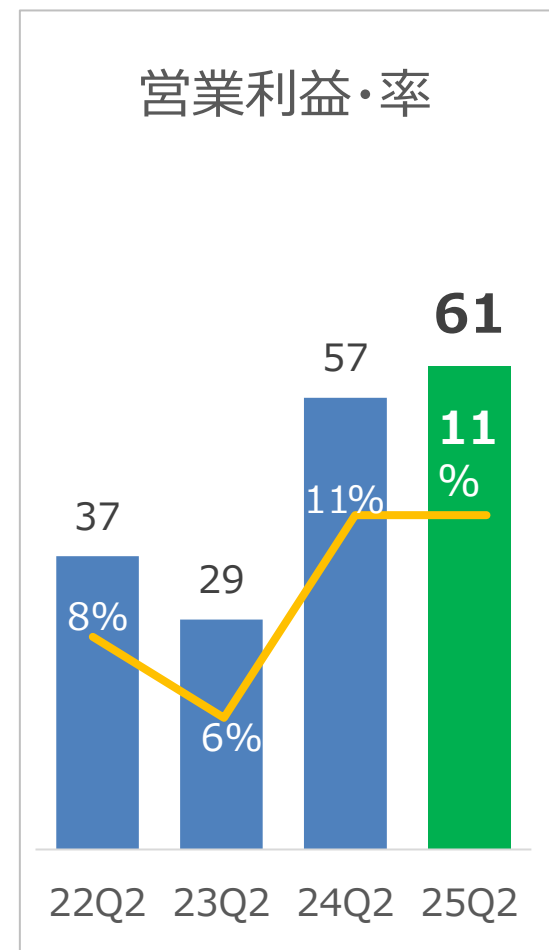
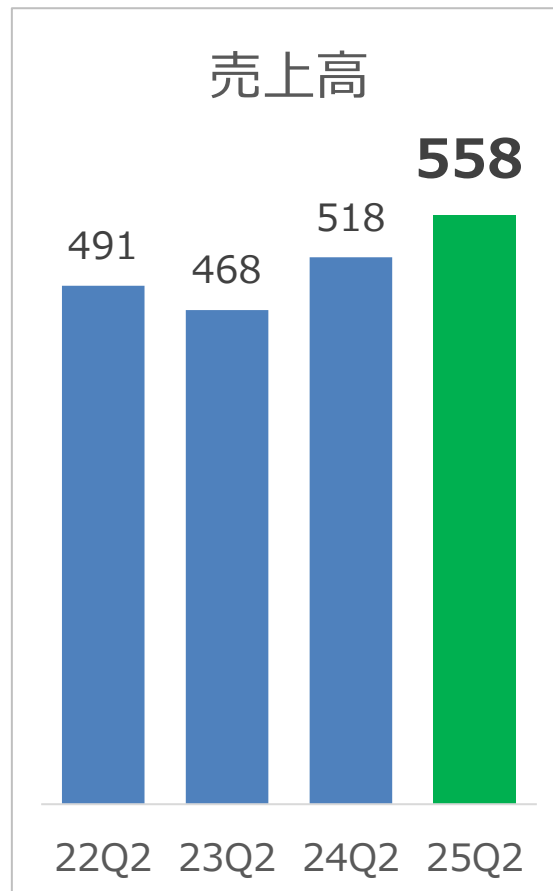
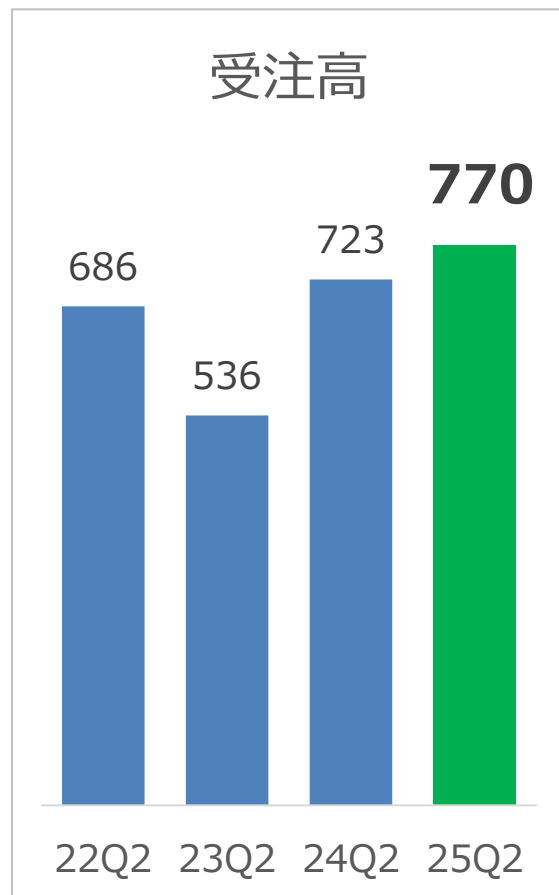
安定させる事業

# 2025年度中間期決算概要



## ● 最高値を更新

(単位：億円)



(※)親会社株主に帰属する中間純利益

(単位：億円)	24年度 上期実績	25年度 上期実績	前年同期比	
			増減額	増減率
受注高	723.0	769.5	46.5	6.4%
受注残高	1,106.1	1,360.8	254.7	23.0%
売上高	517.5	558.0	40.4	7.8%
営業利益	57.4	60.9	3.4	6.0%
経常利益	59.3	62.6	3.3	5.6%
当期利益(※)	42.8	45.5	2.7	6.4%
研究開発費	17.2	19.7	2.5	14.8%
設備投資	16.2	49.4	33.2	205.0%

(※)親会社株主に帰属する中間純利益

## 【受注高】

モーション機器が航空宇宙を中心として前年に迫る勢いであることに加え、エンジニアリング＆サービスの大幅増により、前年同期を上回った

## 【売上高】

モーション機器が好調な受注を背景として増収、クリーン搬送システムは関税影響の解消によるフォーキャスト増

## 【損益面】

研究開発費・設備投資・人件費等が上昇している中、売上増の効果を発揮

(単位：億円)		24年度 上期実績	25年度 上期実績	前年同期比	
				増減額	増減率
クリーン搬送 システム	受注高	122.2	122.7	0.5	0.4%
	売上高	112.2	132.6	20.3	18.1%
	営業利益	16.0	20.8	4.7	29.4%
モーション機器	受注高	356.7	331.2	▲25.5	▲7.1%
	売上高	193.6	222.8	29.2	15.1%
	営業利益	19.6	23.8	4.2	21.5%
パワー エレクトロニクス機器	受注高	118.6	123.3	4.7	4.0%
	売上高	108.0	99.7	▲8.4	▲7.7%
	営業利益	10.9	7.1	▲3.7	▲34.4%
エンジニアリング & サービス	受注高	125.5	192.3	66.8	53.2%
	売上高	103.7	102.9	▲0.8	▲0.8%
	営業利益	10.9	10.7	▲0.2	▲1.8%
計	受注高	723.0	769.5	46.5	6.4%
	売上高	517.5	558.0	40.4	7.8%
	営業利益	57.4	60.9	3.4	6.0%

# 2025年度通期見通し



(単位：億円)	24年度 実績	25年度 予想	対前回予想 変更点 (2025/5/13)	対前年比	
				増減額	増減率
受注高	1,435.8	1,500	+50 (1,450)	64.2	4.5%
売上高	1,191.5	1,250	—	58.5	4.9%
営業利益	157.3	165	—	7.7	4.9%
経常利益	159.4	165	—	5.6	3.5%
当期利益(※)	121.0	113	—	▲ 8	▲ 6.6%
研究開発費	36.8	60	—	23.2	63.0%
設備投資	37.5	120	—	82.5	220%
2025年度 想定為替レート 1ドル = 135円					

## 【受注高】

モーション機器の航空宇宙など、更なる上積みも期待できる状況のため、年間で50億円上積みし、1,500億円に上方修正

## 【各セグメント予想】

市況変化に応じ対策すべく、セグメント毎にも若干の修正を実施

※24年度当期利益には、政策保有株の縮減等による特別利益を含む

(※)親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：億円)	24年度 実績	25年度 予想	対前回予想 変更点 (2025/5/13)	対前年比	
				増減額	増減率
受注高	261.0	280	▲35 (315)	19	7.3%
売上高	251.4	250	▲15 (265)	▲1.4	▲0.6%
営業利益	40.2	42.5	▲7.5 (50)	2.3	5.7%
営業利益率	16.0%	17.0%	－ (18.9%)	－	1.0%

## 【事業環境】

HBM関係、中・後工程開発は堅調も、本格的な上昇には至らず

## 【業績予想】

大手顧客の業績修正に伴い、当初市場が上向くと予想していた額を下げる

## 【方針/アクション】

- ◆ EFEM・真空プラットフォームなどのシステム製品の拡販に一層の注力
- ◆ 中国半導体製造装置メーカーへの当社シェア拡大に向け、中国生産準備を進める

(単位：億円)	24年度 実績	25年度 予想	対前回予想 変更点 (2025/5/13)	対前年比	
				増減額	増減率
受注高	664.8	600	35 (565)	▲64.8	▲9.7%
売上高	433.3	500	30 (470)	66.7	15.4%
営業利益	48.5	61	6 (55)	12.5	25.8%
営業利益率	11.2%	12.2%	－ (11.7%)	－	1.0%

## 【事業環境】

- ◆防衛力整備計画に基づく需要増・担当領域拡大
- ◆FA/電装品は、半導体製造装置向けのアクチュエータが順調

## 【業績予想】

- ◆航空宇宙の業績進捗が好調であり、受注・売上・営業利益予想を引き上げる

## 【方針/アクション】

- ◆航空宇宙：生産力拡大施策の推進と更なる事業領域拡大に向けた開発
- ◆半導体製造装置向けアクチュエータの水平展開、後工程自動化設備の開発

# セグメント別業績見通し(パワーエレクトロニクス機器)

(単位：億円)	24年度 実績	25年度 予想	対前回予想 変更点 (2025/5/13)	対前年比	
				増減額	増減率
<b>受注高</b>	268.8	300	▲35 (335)	31.2	11.6%
<b>売上高</b>	262.7	250	▲20 (270)	▲12.7	▲4.8%
<b>営業利益</b>	34.0	28	▲2 (30)	▲6	▲17.6%
<b>営業利益率</b>	12.9%	11.1%	－ (11.1%)	－	▲1.8%

## 【事業環境】

「脱炭素」「省エネ」関連需要は堅調も、自動車試験装置は関税影響で受注後ろ倒し

## 【業績予想】

自動車メーカー影響、公共設備案件の入札遅れなどにより、安全を見た修正を行う

## 【方針/アクション】

- ◆LNG搬送ポンプ用サブマージドモータのアンモニア・水素展開促進
- ◆上下水用電気設備のグループ連携、人手不足対応



(単位：億円)	24年度 実績	25年度 予想	対前回予想 変更点 (2025/5/13)	対前年比	
				増減額	増減率
受注高	241.3	320	85 (235)	78.7	32.6%
売上高	244.0	250	5 (245)	6	2.5%
営業利益	34.1	35	5 (30)	0.9	2.6%
営業利益率	14.0%	14.0%	— (12.2%)	—	—

## 【事業環境】

半導体デバイス工場・官民設備の電気・管工事は、市場の有資格技術者の不足により有資格技術者を多く抱える当社に追い風

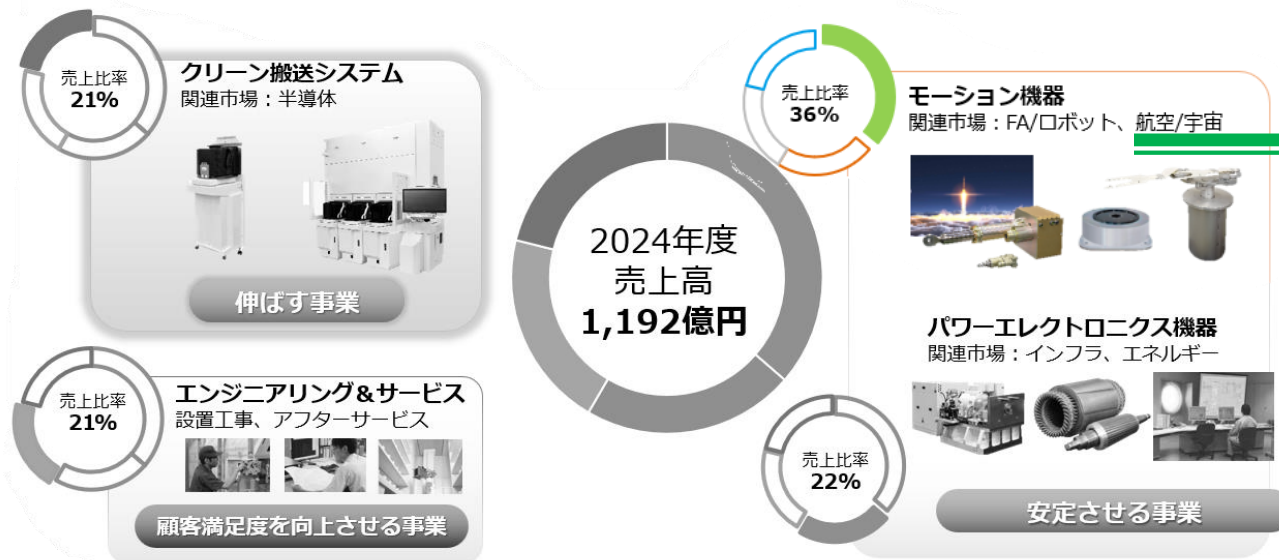
## 【業績予想】

受注環境が好調なため、受注は大幅に、売上・営業利益は小幅に引き上げる

## 【方針/アクション】

- ◆官民工事案件・アフターサービスにおけるグループ連携
- ◆有資格技術者のさらなる増強と適正配置

# 中期経営計画「SINFONIA NEXT DREAM」進捗



**1917年 当社創業**

**1920年 航空業界参入、同年、現・防衛省向けに航空機用電装品（発電機）の納入開始**

**1936年 現・防衛省向けに航空機用電源が採用され納入開始**

**1937年 朝日新聞社の国産飛行機「神風号」にエンジン直結式直流発電機および自動電圧調整器搭載**  
※東京・ロンドン間の長距離連絡飛行に成功、当社搭載品が高く評価された

**1986年 宇宙分野参入**※油圧ポンプ用電動モータ開発（H-Iロケット搭載）



航空機・防衛事業 ◆ 航空機用発電機/電源/配電盤  
/アクチュエータ等の航空機用電装システム  
ロケット事業 ◆ ロケット用アクチュエータ/コントローラ

## モーション機器セグメント

### <サブセグメント>

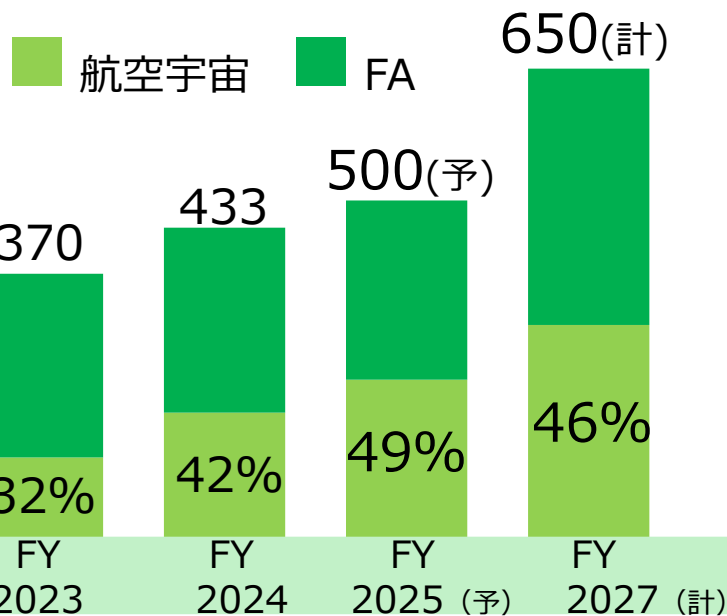
航空宇宙

FAシステム



クラッチブレーキ ◆ 産業用 無励磁作動形電磁ブレーキ/クラッチ  
モーションシステム ◆ 半導体製造装置向けDDモータ /特殊環境  
対応の工作機械や精密機械用アクチュエータ

売上高



◆2023年以前：モーション機器の約3割

※2023年：「防衛力整備計画」により  
防衛予算の大幅引き上げ

モーション機器セグメントの**50%に拡大**

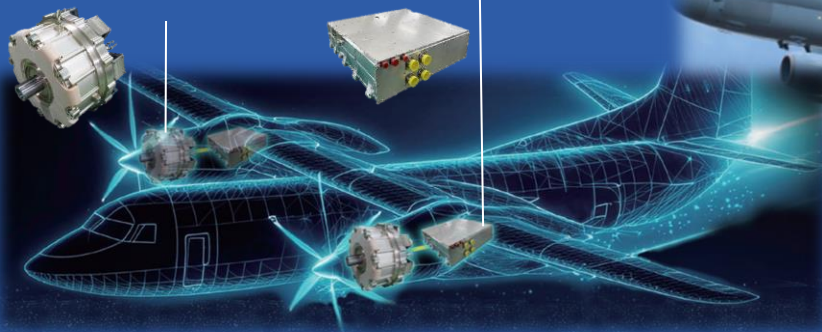


## 航空機

—防衛分野、民間航空機分野へ展開—

- 航空機用電装品：発電システムや配電・電力変換器に至る  
電源マネジメントシステム、救難ホイス等
- 地上支援設備：CVCF周波数変換装置、リフトトラック、航空電源車
- サービス対応：オーバーホール

高出力密度ハイパワーモータ・コントローラ



航空機用電源システム



ヘリコプター用救難ホイス&ウィンチ



MRO（整備・修理・オーバーホール）

画像はイメージです

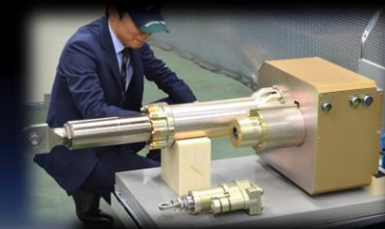
## 宇宙分野

—宇宙開拓に幅広く貢献—

- ロケット用電装品：ロケットの飛行制御機器、推力偏向装置 他
- 宇宙ステーションの電装品
- 月面利用の実験機器等



©JAXA



宇宙ロケット姿勢制御用  
サーボアクチュエータ

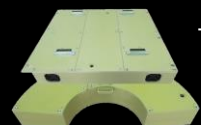


月面探索機のイメージ



ロケット用電源システム

宇宙ステーション内  
：実験用電装品



生物実験用制御装置



©JAXA/NASA



画像はイメージです

✓ 強み

航空宇宙に対応するノウハウ保有

- ・高高度（航空機）  
宇宙空間対応（ロケット）
- ・検査/実験ノウハウ
- ・高精度生産対応

100年以上に渡る実績

■ 国内唯一の防衛航空機用 電源システムメーカー

✓ 事業環境

- ・防衛力強化
- ・国内防衛産業強化

■ 将来が見通しやすく安定した事業

重点  
拡大  
事業

## 防衛

### ●防衛力整備計画

- ・ **2023年4月～2028年3月 43兆円（予）**  
前「中期防衛力整備計画」比：約**60%増**

### ●28年以降も継続して強化が予想される項目

- ・ 無人アセット防衛能力
- ・ 領域横断作戦能力
- ・ 持続性・強靱性
- ・ スタンド・オフ防衛能力

➡ 電源・アクチュエータが必要な領域

## 宇宙

- 国内の宇宙産業の**市場規模：約4兆円**（令和6年3月時点）  
※政府目標：2030年代早期の倍増（約**8兆円**）

JAXAによるロケット等打ち上げ件数

FY2020～2023	FY2024	FY2025以降
年間2～4件	5件	15件（予定）

\* 衛星/宇宙ステーション等、**宇宙ビジネス化**に向けロケット打ち上げ数増加

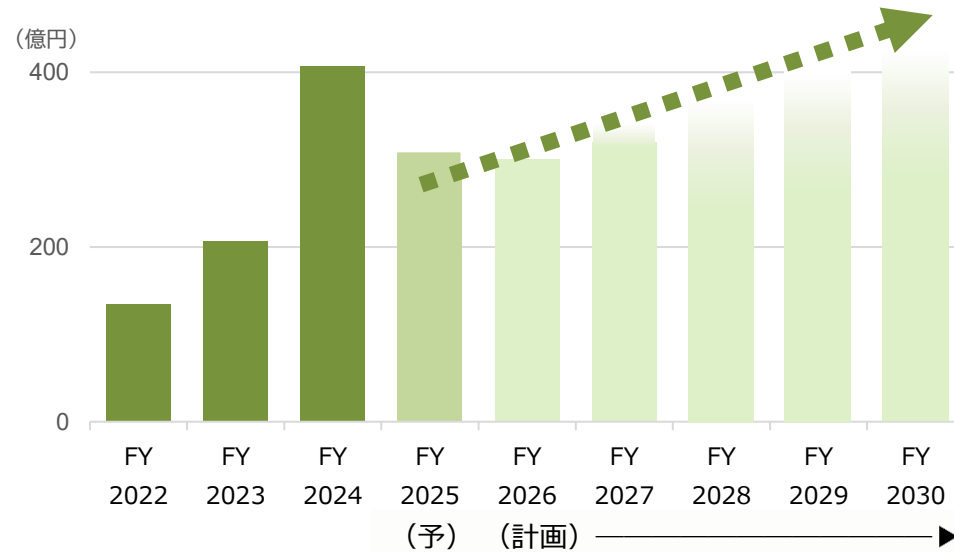
➡ ロケット以外にも、衛星・宇宙ステーションにも商機

## 民間航空機

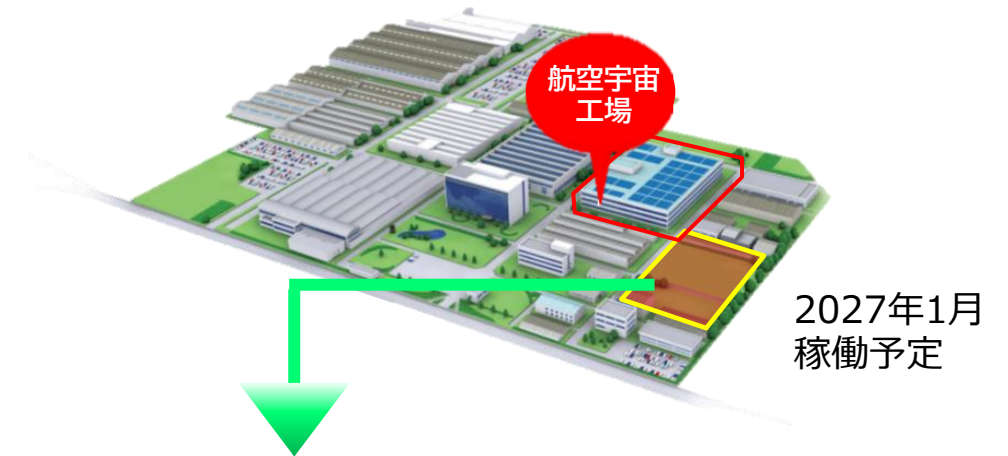
- 官民共同で**省エネ/脱炭素化に向けた電動化を推進**
- ➡ 電動航空機推進用の  
高出力密度ハイパワーモータ・コントローラ開発中

## ■ 生産キャパシティの増強

### ■ 受注



▶ 生産キャパシティ増強 200億円⇒400億円へ



新工場 建設中

- ・ 大型設備の導入
- ・ 技術/技能者の採用と育成

さらなるキャパシティ増強を検討中



# 中期経営計画の全体進捗

## ■ 中計施策：重点拡大分野の位置づけ

中期経営計画  
「SINFONIA NEXT DREAM」  
(2026年3月期～2028年3月期)



売上高	2024年度 実績	2027年度 計画	増加額
連結売上	1,192	1,600	+408
重点拡大2分野	540	850	+310

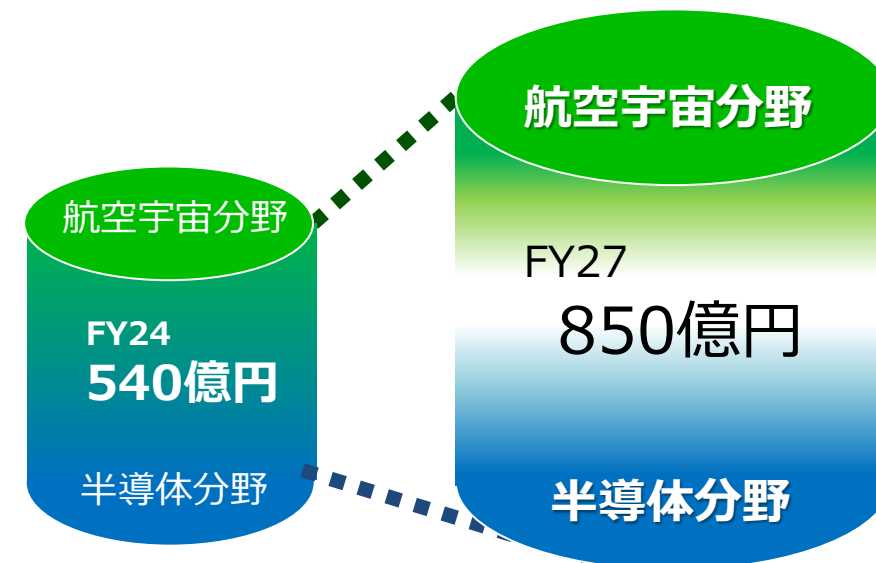
重点拡大2分野で  
業績を8割伸ばす

航空宇宙分野	重点施策	進捗
	事業環境による拡大	すでに受注獲得済
	生産キャパシティ増強	生産能力2倍へ投資開始
	領域拡大 (無人機、衛星等)	無人機プログラムに参画

27年の想定
◆ビジビリティ高
◆中・長期計画への強力なベースロード

半導体関連分野	重点施策	進捗
	既存シェア・製品領域拡大	領域拡大に向けた開発提案
	システム製品拡大	大手顧客と商談中
	中・後工程 拡大展開	310対応試作機活況
	中国市場	受注増・現地生産交渉中

27年の想定
◆半導体の波はあるものの拡大展開は順調に進捗
◆長期的には着実に拡大



全体進捗として順調



ご清聴ありがとうございました

本資料中の見通し及び事業計画については、現時点における将来環境予測等の仮定に基づいております。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。

シンフォニアテクノロジー株式会社 TEL : 03-5473-1805  
経営企画部 FAX : 03-5473-1841

